

記入上の注意点

- 1 添付書類に不備がありますと、審査に支障がありますので、必要な添付書類は必ず添付するようにしてください。(下記のアンダーライン部分が必要な添付書類です。)
- 2 太枠の内側について、記入してください。
- 3 「整理番号」欄は、事務局で記入する欄ですので記入しないでください。
- 4 「申込区分」欄には、次の区分により、番号を記入してください。(各事業の詳細は手引きのP4～P8をご覧ください。)
 - ・地域福祉・在宅福祉事業・・・1
 - ・施設福祉事業・・・2
 - ・福祉ボランティア活動奨励事業・・・5 (この区分の場合、(1)から(3)のいずれかも記入してください。)
 - ・福祉施設・団体従事者研修事業・・・3
 - ・福祉に関する調査・研究事業・・・4
- 5 申請後に、所在地、名称及び代表者に変更を生じる場合は、速やかに連絡してください。なお、この「助成金申込」と、助成が決定した後必要となる、「助成金交付請求」、「助成事業実績報告」等は同一代表者により行うことになります。
- 6 「担当者欄」には事業内容を熟知している方の役職・氏名を記入してください。「電話」欄は9:00～17:00で、この担当者に確実に連絡できる電話番号を記入してください。
- 7 「事業名」欄については、事業内容を簡潔に表現する事業名を記入してください。
(例) ○○作業所エアコン整備事業、○○園△△修繕事業、△△セミナー開催事業 等
- 8 「事業の目的」欄については、上記事業を行う背景、現況、目的等について簡潔に記入してください。(団体の目的を記入するものではありませんのでご注意ください。)
- 9 「助成金交付申込額」は1万円単位としてください。(助成額を計算し、1万円未満の端数が生じる場合は切り捨ててください。)
- 10 「事業の内容」欄について
 - (1) セミナーや研修事業等のソフト事業については、実施主体、実施場所、実施方法、参加者、助成を必要とする理由、その他必要な事項について簡潔に記入し、対象経費となるものについては見積書を添付してください。また、事業の実施要綱がある場合は別添で添付してください。
 - (2) 申込区分1又は5の(3)の事業については、貴団体の活動範囲(県全体、郡単位、市町村単位)において先駆的な事業で、他への波及効果が期待できる事業であるかどうかについて自己PRを記入してください。
 - (3) 施設整備の場合には、事業の概略を記載するとともに、対象施設等の帰属関係についても記入し、また、次の書類を添付してください。(①～④)
 - ①見積書(複数業者による)
 - ②図面(スケールが入っているもので、整備する部分を明示すること。)
 - ③整備する前の写真(コピー不可)
 - ④借家・借地に係る整備の場合は、当該借家・借地について5年以上の賃貸契約期間が残存している契約書(大家の覚書等でも可。)
 - (4) 備品整備の場合には、事業の概略を記載するとともに、次の書類を添付してください。(①～③)
 - ①見積書(複数業者による)
 - ②カタログ
 - ③エアコン等の建物に据え付ける備品を整備する場合は、図面、据え付ける位置がわかるような写真
 - (5) 「事業実施時期」欄については、事業を実施する予定の時期を記入していただきますが、助成決定次第の場合は、その旨記入してください。なお、この助成申込時点で、既に事業を始めていたり、又は終了しているものは、申請できませんのでご注意ください。また、申込受付後から助成金交付決定前の事業開始について、助成事業審査会議の決定において「助成金交付対象外」になっても、自己の責任によるものとし、当基金での責任は負えませんのでご注意ください。原則として、助成金交付決定後になります。
 - (6) 「他団体への助成要望」欄については、他の団体への助成申請の状況、助成要望額等を記入してください。
- 11 「事業収支予算」欄について
 - (1) 「収入」欄について
 - 「助成金」欄の金額は、「助成金交付申込額」の金額と一致します。
 - 「自己資金」欄は、寄附金、会費、事業収入、自己負担等の区分により記載してください。寄附者名簿、会費に関する規程等については、別添で添付してください。
 - 「その他資金」欄は、市町村補助金、他団体からの助成金(団体名を付記すること)等の区分により記載してください。
 - 「合計」欄の金額は、「事業費総額」欄の金額と一致します。
 - (2) 支出について
 - 科目は団体等における末端科目により整理し、事業内容が把握できるような算出基礎を記入してください。
 - 「合計」欄の金額は収入の「合計」欄の金額と一致します。
- 12 「申請者の概要」欄について
 - (1) 「設立年月日」欄については、法人にあっては法人の設立月日を、その他は発足又は結成年月日を記入してください。
 - (2) 施設福祉事業の助成を申し込む施設については、「設立年月日」欄の右欄「施設種別」(法定の場合は(法定)と書き添えること)を記入してください。
例) 認可外保育所、放課後児童クラブ
 - (3) 「活動実績・活動状況」欄には、申請者のこれまでの活動実績や、現在の活動状況を記載してください。なお、施設にあっては、指導者数や、通(入)所者数、作業内容や開所日等も併せて記入してください。
 - (4) 団体の定款や会則等及び会員名簿、活動の詳細がわかる資料を必ず添付してください。
 - (5) 運営母体・団体の前年度の決算書を必ず添付してください。
 - (6) 「本基金からの過去の助成」欄には、過去5年間の本基金からの助成事業と助成金額を記入してください。
- 13 「事務局記入」欄について
事務局で記入する欄ですので記入不要です。

(第1号様式)

整理番号	
------	--

2019年度助成金交付申込書

「講演会開催」経費を申請する場合の記載例

公益財団法人山形県総合社会福祉基金理事長 様

2019年 5月 9日

下記のとおり助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申し込みます。

申込区分	1
------	---

申請者	住所 〒990-1124 山形市〇〇町 3-5-8		担当者 紅 花子	
	名称 (助成を申し込む団体名)		電話 (9:00~17:00の間確実につながる電話番号)	
	代表者 (助成を申し込む団体の代表者名)		申込額の内訳： 対象経費 (①100,000 + ②30,000 + ③80,000 + ④20,000) × 3/4 = 172,500 1万円未満切捨てのため=170,000	
運営母体	住所			
事業名	(助成を申し込む事業名)			
事業費総額	(対象外経費も含めた総額) 295,000 円		助成金交付申込額	(1万円未満切捨て) 170,000 円
事業の目的	本団体啓発事業として毎年開催している講演会を、今年度は20周年記念事業ということで、××のスペシャリストである〇〇氏を講師として招き、より多くの人達に参加していただき、××に対する理解や啓発の拡大を目的としている。			
事業の内容	設立20周年記念事業 日時 2019年11月10日(日) 午前10時～ 場所 ★★市コミュニティーセンター 講師 〇川 ×助 演題 ××について			
	申込事業の先駆性、他への波及効果の自己PR		※申込区分が1又は5(3)の事業の場合記入のこと	
	(事業の先駆性や波及効果を具体的に記入してください。)			
	施設の所有者	(賃貸の場合、契約が5年以上である証明書添付)		
	事業実施時期	2019年11月～(原則として、助成金交付決定後になります。)		
他団体への助成要望	〇〇財団××助成金に申請中			
事業収支決算	【収入】		【支出】	
	(円)		(円)	
	助成金	170,000	謝金	① 100,000
	自己資金 今年度予算に計上済み	125,000	旅費	② 30,000
			借損料	③ 80,000
	その他		広告宣伝費(宣伝用屋外看板)	④ 20,000
			消耗品費(講演会用屋内看板)	対象外→ 15,000
		雑費(昼食代)	対象外→ 50,000	
	合計 295,000	合計	295,000	
申請者の概要	設立年月日	平成 2年 5月 15日		施設種別
	活動実績・活動状況	(各団体の活動実績や活動状況)		
	本基金からの過去の助成	(平成26年度以降の本基金の助成状況)		
				事務局記入欄

看板については、不特定多数の人に対し、広告・PRするものを対象経費とし、内看板は対象外とする。

(第1号様式)

整理番号	
------	--

2019年度助成金交付申込書

「エアコン設置」経費を申請する場合の記載例

公益財団法人山形県総合社会福祉基金理事長 様

2019年 5月 9日

下記のとおり助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申し込みます。

申込区分	2
------	---

申請者	住所 〒990-1124 山形市〇〇町3-5-8			担当者 紅 花子		
	名称 (助成を申し込む団体名)			電話 (9:00~17:00の間確実につながる電話番号)		
	代表者 (助成を申し込む団体の代表者名) ①			FAX		
運営母体	住所 (運営母体の住所)	名称 (運営母体の名称)	代表者氏名 (運営母体の代表者名)			
事業名	(助成を申し込む事業名)					
事業費総額	(対象外経費も含めた総額) 85,800 円		助成金交付申込額	(1万円未満切捨て) 60,000 円		
事業の目的	夏の暑さで、熱中症など体調を崩す危険性が考えられるため、室温調整による子ども達の健康管理を目的としている。					
事業の内容	10畳程度の保育室に、エアコン1台を設置する。(図面添付)					
	申込事業の先駆性、他への波及効果の自己PR ※申			申込額の内訳： 対象経費 (①79,800 + ②6,000) × 3/4 = 64,350 1万円未満切捨てのため=60,000		
	施設の所有者	自己所有の土地及び建物。(賃貸の場合、契約が5年以上である証明書添付)				
	事業実施時期	助成金交付決定次第。(原則として、助成金交付決定後になります。)				
他団体への助成要望	なし					
事業収支決算	【収入】 (円)			【支出】 (円)		
	助成金	60,000	エアコン及び室外機等代	①	79,800	
	自己資金 今年度保育料より捻出	25,800	エアコン設置代	②	6,000	
	その他					
	合計	85,800	合計		85,800	
	申請者の概要	設立年月日	平成 2年 5月 15日	施設種別	放課後児童クラブ	
活動実績・活動状況		(各団体の活動実績や活動状況)				
本基金からの過去の助成		(平成26年度以降の本基金の助成状況) 平成27年度 トイレ修繕事業 1,000,000円				
			事務局記入欄			

(第1号様式)

整理番号	
------	--

2019年度助成金交付申込書

「施設の増築」を申請する場合の記載例

公益財団法人山形県総合社会福祉基金理事長 様

2019年 5月 9日	
申込区分	2

下記のとおり助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申し込みます。

申請者	住所 〒990-1124 山形市〇〇町3-5-8		担当者 紅 花子	
	名称 (助成を申し込む団体名)		電話 (9:00~17:00の間確実につながる電話番号)	
	代表者 (助成を申し込む団体の代表者名)			
運営母体	住所	同上		
事業名	(助成を申し込む事業名)			
事業費総額	(対象外経費も含めた総額)	6,762,000 円	助成金交付 申込額	(1万円未満切捨て) 2,000,000 円
事業の目的	施設利用者の人数が増えたため、各部屋が手狭になっている状態です。狭い場所での保育は危険があるため、スペースを拡張して安全で充実した保育をする目的としている			
事業の内容	現在の乳児保育の部屋を園の東側に拡張し、幼児の保育室の広さを確保する。また、お昼寝をする部屋と遊ぶ部屋の間仕切りが出来るようにする。(図面添付)			
申込事業の先駆	注) : 5年が「減価償却の耐用年数」ではありません。財産処分時の耐用年数に関しては、大蔵省令に定める耐用年数表に準じて求めます。 例 : 7年後の2026年に移転することになった場合(第7号様式提出) →助成事業実施規程第14条により助成金の返還を求める場合があります。			
施設の所有者	大家・〇〇△△所有・5年以上の別添賃貸契約書有(賃貸の場合、契約が5年以上である証明書添付)			
事業実施時期	(原則として、助成金交付決定後になります。申請後から交付決定前に実施する場合は事前着手届を添付。)			
他団体への助成要望	〇〇財団××助成金に申請中			
事業収支決算	【収入】		【支出】	
		(円)		(円)
	助成金	2,000,000	建築工事代	① 6,000,000
	自己資金 繰越金より	762,000	電気設備等代	② 200,000
	借入より	4,000,000	運搬代	③ 50,000
	その他		諸経費	④ 190,000
			消費税	⑤ 322,000
合計	6,762,000	合計	6,762,000	
申請者の概要	設立年月日	昭和 57年 4月 1日	施設種別	認可外保育所
	活動実績・活動状況	(各団体の活動実績や活動状況)		
	本基金からの過去の助成	(平成26年度以降の本基金の助成状況)	平成27年度 防災用避難車購入事業	120,000円
				事務局記入欄